

資料2 事務事業評価(自己評価)結果

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題		改善の方向性	事業実施の方向性	
05247	市民	市民自ら、健康づくりに関心を持ち、積極的に健康づくりや健康管理に取り組み自立して生活できる健康寿命を延ばす						「さぬき・すこやか講座」では受講者が参加しやすいように、回数を減らしたため(8回6回)昨年よりのべ受講者数(目標値)が当然少なくなったが受講後アンケート結果では行動変容された方が92.3%という好結果が得られている。 市民参加型の健康づくり活動を推進していくことは、自立したまちづくりにおいても非常に重要であるが、人を育てていくことには、非常に多くの時間と労力が費やされる。		まちの健康応援団などが、自主的な健康づくりに取り組んでおり、「自分の健康は自分でつくる」の意識付けの先駆者的な役割を果たしてくれており、この活動を推進すると共に、各種の講座による動機付けも図っていききたい。	継続する	
事業名	健康づくり活動推進事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画					実績
		「健康チャレンジデー」参加者数	人	2,200	2,670	総コスト	14,808					15,919
		「健康教室」参加者数	人	7,000	12,780	直接事業費	1,508					1,194
		「さぬき・すこやか講座」受講者数	人	250	168	人件費	13,300					14,725
		「まちの健康応援団」参加人数	人	30	32	特定財源	500					587
所管課						一般財源	14,308	15,332				
国保・健康課												
事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題		改善の方向性	事業実施の方向性	
05248	市民	システムを有効に活用することで市民の健康増進に役立てる						-		平成20年度から始まる特定健診制度に向けたシステム構築が必要となるため、関係機関との連携により効率的なシステムの検討をしていきたい。	継続する	
事業名	健康管理システム管理事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画					実績
						総コスト	3,395					2,916
						直接事業費	3,038					2,842
						人件費	357					74
						特定財源	0					0
所管課						一般財源	3,395	2,916				
国保・健康課												
		数値化できない成果	「まちの健康応援団」取り組み成果、「健康チャレンジデー」の満足度(アンケート)									
		数値化できない成果	市民の健康づくりのための適正なデータ管理と効率的な運用									